

令和3年度

令和4年3月吉日

学校だより臨時号

学校評価特集【後期】

京都市立勧修小学校 TEL 591-0003 FAX 591-0004



学校教育目標

「互いを認め合い、すすんで

学び続ける児童・生徒の育成」

重点目標（目指す子ども像）

考える子 しっかり話す子

夢を広げる子 うれしさを分け合う子

学校評価特集【後期】

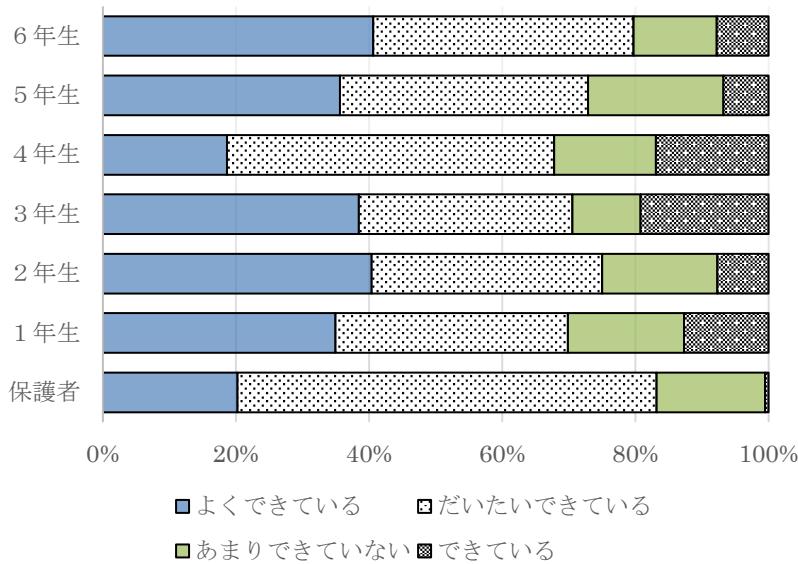
12月にお願いしました保護者アンケートの集計ができました。また、同時期に児童アンケートや教職員自己評価も実施していますので、これらの結果をお知らせします。

本校では年間に2回の学校評価をおこなっています。子どもたちへの教育は保護者や地域と学校との信頼関係が大切であり、学校は子どもたちの状況や保護者の思いをしっかり受け止め、教育の充実に努めていきたいと考えています。今後とも子育てについての課題を共有しながら学校・家庭・地域の相互理解と連携が一層深まるこことを願っています。



◎ 今回も、学年比較をしながら分析しています。学年が上がるとどのように変わっていくのかを分析しました。

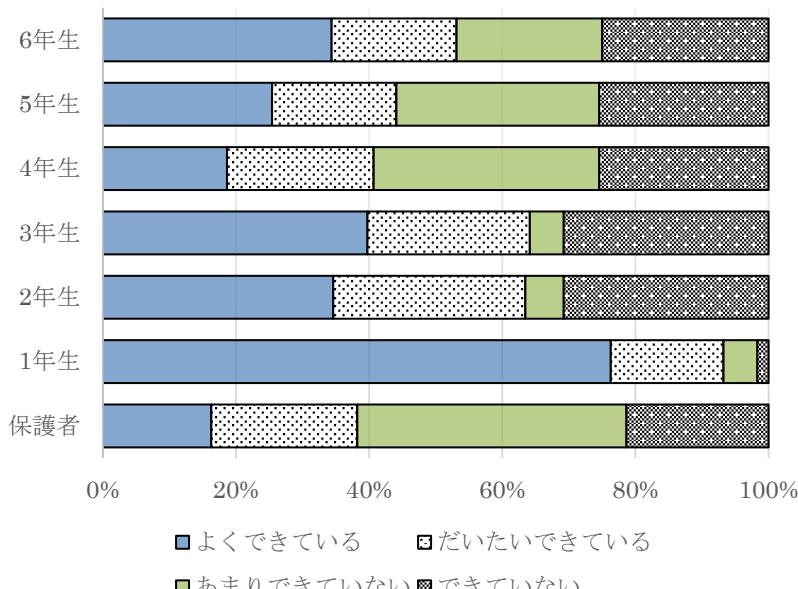
1. 【元気のよいあいさつをしている。】



「あいさつ」については、昨年度より肯定的に回答した児童が増えています。昨年度、地域の方や保護者から、あいさつをする児童が減っているとの声をたくさんいただきました。今年度は、その声をもとに学校全体の取組として、あいさつを推進してきました。緊急事態中はできていませんが、児童会の呼びかけで、あいさつ運動も行っています。

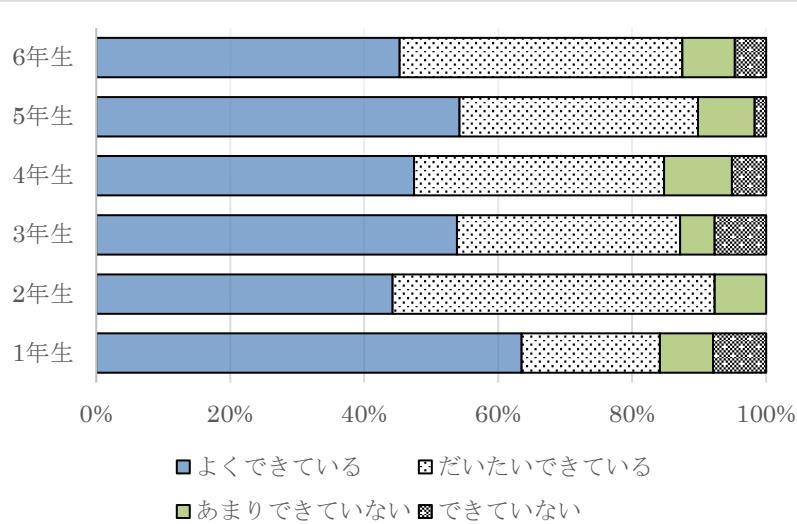
6年生の数値を見ると、「よくできる」の回答が他学年よりもずいぶん上がっていきます。集団登校時、6年生のよき姿を手本として、他学年にも広がっていくよう、指導を続けていきたいと思っています。

2. 児童アンケート【家で読書をしている】

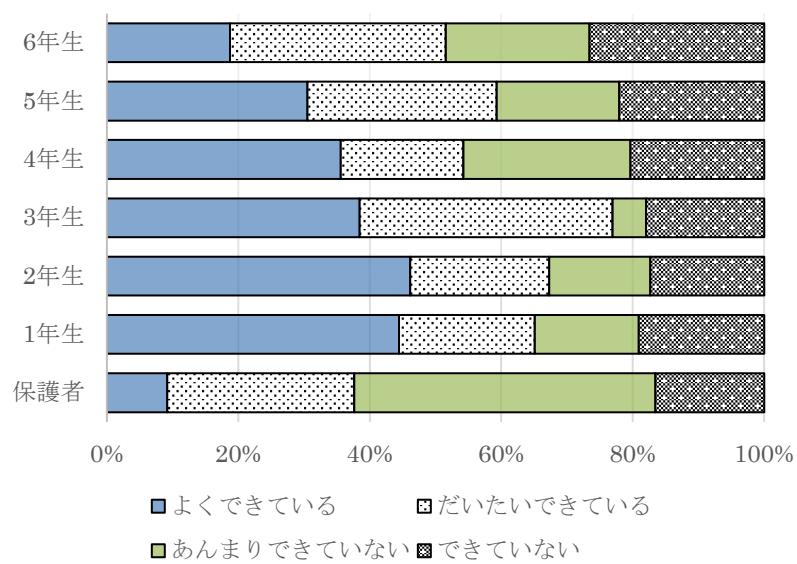


前期は、高学年ほど家庭で読書をしているという傾向が見られましたが、後期は、低学年の方が肯定的に回答している児童が多くなりました。児童アンケート(全学年)では、57.6%の児童が肯定的な回答をしています。昨年度は、53.2%でした。コロナ禍もあり、お家で過ごす時間が増えたことも影響しているかもしれません。昨年度よりも肯定的な回答をしている児童が増えました。学校としては、定期的に学級文庫の図書を入れ替えたり、図書室に通つたりと、児童が少しでも本に興味が持てるよう取り組を進めてきました。また、子どもたちは、「お話し広場くすぐす」による読み聞かせをとても楽しみにしています。今年度も昨年度に引き続き、思うように活動していただけませんでした。早くコロナが収まり、毎月、読み聞かせをしていただけた日が来るといいです。

3. 【学校のきまりや約束をきちんと守っている】



4. 児童アンケート【ゲームや携帯（スマホ）をする時間を決めて、守っている。】



☆自由記述欄にもご意見いただきありがとうございます。

<学校行事について>

- ・コロナ禍の大変な時期に、子どもたちのために工夫を凝らして行事を考えてくださって感謝しています。
- ・学校行事を早めに伝えてほしい。
- ・兄弟で参観日を同じにしてほしい。
- ・体験学習や課外学習は、子どもの心の成長に必要だと感じているので、可能な限り実施をお願いしたい。

<放課後の過ごし方について>

- ・公園でごみを投げ捨てている子をよく見かける。
- ・最近暗くなるのが早いが、暗くなつてからも公園で遊んでいる子をたまに見かける。

<学習について>

- ・以前のように漢字検定を行ってほしい。
- ・生活や工作で用意する物の連絡をもっと早めに連絡してほしい。
- ・算数の授業だけでも、学力別で授業してほしい。
- ・宿題を増やしてほしい。

<その他>

- ・毎週いただくお知らせをもとに、子どもとのお話しする時間が内容あるものになっているのでありがたい。
- ・朝のあいさつができない子が多いと感じる。
- ・通学路を通らなかったり、広がって歩いたりして帰り道が危ないと感じる。

児童アンケート(全学年)では、85.1%の児童が肯定的な回答をしています。学校では、みんなが気持ちよく過ごすためにルールや決まりがあると、お話ししています。そして、1つ1つのルールや約束について「何のためにあるのか」を説明し、他のルールにも汎用できる力を育むようにしています。しかし、学校の中では、決められたルールを守って過ごしていると答えている子どもたちですが、地域の方や保護者の方より、放課後の過ごし方についてご意見いただことがあります。学校を離れてもルールを守って過ごすことができるよう、引き続き指導していきます。

ここ数年の傾向として、学年が上がるほど、肯定的な回答が減ってきてています。児童アンケート(全学年)では、61.2%の児童が肯定的な回答をしています。前期は、70.4%でした。前期よりも、肯定的に回答した児童が減少しています。まん延防止重点措置の実施等で、お家にいる時間が増えたことも要因の1つとして考えられますが、一旦緩めたルールを戻すことは、とても大変です。学校でも引き続き、スマホやタブレット、ゲーム機などの健康に与える被害に等について指導していますが、ご家庭でも今一度、お子達とルールについて話し合っていただけよう、ご協力をお願いします。

